

第5回 滝川一益公を偲ぶ

# 長昌寺能

平成30年12月20日 木

午後6時開演(午後5時開場)  
於・昌賢学園まえばしホール

(前橋市民文化会館)・大ホール  
前橋市南町3-62-1

入場料 S席5000円 A席3000円

申込方法 チラシ裏面の申込書に住所・氏名・電話番号を記載の上、FAXをお送りください。

追善仕舞 玉鬘

追善独吟 羅生門

狂言 萩大名

能 鞍馬天狗

第5回記念 地元小学生が子方で出演！  
身近で能を楽しみましょう

「鞍馬天狗」下平 克宏



藤波 重彦



殿田 謙吉



野村 萬齋



大槻 崇充



番組

18:00 挨拶 長昌寺能運営委員会 石原 栄一  
前橋市長 山本 龍

《第1部》

18:10 追善供養  
舞扇供養 杉田 智  
献茶供養 金子 昌彦  
読経 長昌寺住職 栗木 信昌 県内曹洞宗寺院  
お話 手島 仁

《第2部》

18:40 追善仕舞 玉 鬘 大槻 崇充  
地謡 武田 文志  
佐川 勝貴  
金子 聡哉  
高梨 万里

追善独吟 羅生門 藤波 重彦

19:00 狂言 萩大名  
大名 野村 萬斎  
茶屋 深田 博治  
太郎冠者 中村 修一  
(休憩)

19:40 能 鞍馬天狗  
鞍馬天狗・山伏 下平 克宏  
牛若丸 清水 義久  
子方 桃井小学校児童  
鞍馬寺の僧 殿田 謙吉  
従僧 則久 英志  
西谷の能力 岡 聡史  
木葉天狗 月崎 晴夫  
笛 寺井 宏明  
小鼓 幸 正昭  
大鼓 安福 光雄  
太鼓 林 雄一郎  
後見 藤波 重彦  
清水 義也  
地謡 藤波 重孝  
川原 恵三  
武田 友志  
武田 文志  
佐川 勝貴  
高梨 万里

長昌寺

群馬県能発祥の地

芳林山栄興院長昌寺(曹洞宗)は延徳元年(1489)、長野方業(まさなり)が厩橋城を築くとともに城内に大洞禅師を開山として創建した寺院。天正9年(1581)には火災で焼失し、城主の北条(きたじょう)高広(たかひろ)が現在地に再建。翌10年、武田氏を滅ぼした織田信長が関東管領として滝川一益を派遣すると、一益が厩橋城主となった。一益は支配下の諸将を城内に招き「玉鬘」を舞って見せ、長昌寺境内に本格的な能舞台をつくり、能興行を行った。これが記録に残る上州=群馬県での初めての能である。



あらすじ

萩大名 はぎだいみょう

田舎大名は太郎冠者を伴い、都へ遊山に出かける。折しも宮城野の萩が盛りの庭を見物することになる。庭の亭主は大の和歌好きで、大名に即興で和歌を所望する。無教養な大名は太郎冠者の手助けで何とかやり取りをするが、大名のあまりの無邪気ぶりに愛想をつかした太郎冠者はついに、、、見るものを幸せにする、狂言の大らかな笑いを、お楽しみください。

鞍馬天狗 くらまてんぐ

春爛漫の鞍馬山へ一人の山伏が花見にやって来る。時同じく東山の僧も、稚児を引き連れやって来て、山伏に出くわす。僧は場違いな者がいると、稚児達を引き連れ帰ってしまう。一人残された稚児は山伏に話しかける。その稚児こそ牛若で、その境遇に同情した山伏は、連れ立て桜の名所を尋ね歩く。そして山伏は、実は鞍馬山の天狗であると明かし、兵法を伝授するので、平家を滅ぼすよう勧める。(中入)

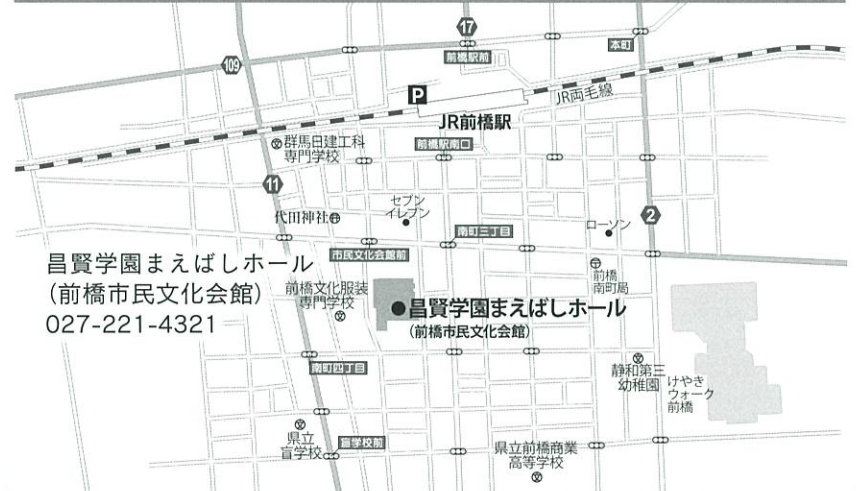


鞍馬天狗

木葉天狗が現れ、牛若に立ち合いを挑むと、牛若は師匠に無断で試合をしては、師匠に叱られると思いとどまる。すると大天狗が現れ、牛若の健気さを誉め、漢の張良の故事を語り聞かせ、兵法の奥義を伝授し、平家追討の折には力を貸そうといい、鞍馬山の彼方へ姿を消す。

華やかな鞍馬山の景色の中に、勇壮な大天狗と、可憐な稚児の絆を情緒豊かに描きだされた人気曲です。前橋市立桃井小学校児童による、花見稚児の健気な演技に、御注目ください。

案内



※駐車場は詰め込み駐車となります。駅北口パークアンドライド(有料)をご利用ください。

<p>申込書 FAX.027-254-1227 問合わせ先 DIPS.A 027-254-1212</p>	
住所	〒
氏名	
電話番号	
FAX番号	
チケット申込み枚数	S席 5,000円 枚 A席 3,000円 枚

◎問合わせ先 ☎027-254-1212 ディップス朝日  
◎メールでの問合せ E-mail:a-kikaku@mail.wind.ne.jp 朝日企画(株)